

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月 6日更新

事務事業名		見守りカメラ(防犯カメラ)設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	17	防犯対策の推進			所属課	安全安心課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	54	防犯に関する環境整備			所属班	交通防犯対策班	(内線)	1243
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 11757	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度					

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	犯罪の抑止や地域防犯の補完、犯罪捜査の早期解決を目的として「見守りカメラ設置事業」を行う。
【業務の流れ】	市が指定する主要交差点に、見守りカメラ(防犯カメラ)を設置する計画である。設置場所の選定、工事設計、工事契約、竣工検査、工事費の支払い業務
【主な予算費目】	工事請負費、光熱水費、委託料
【意見や要望】	市議会から安全・安心な環境整備のために防犯カメラ設置要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	市内主要交差点4箇所に防犯カメラ6基を新規設置した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		市内主要交差点5箇所を選定し、見守りカメラ(防犯カメラ)を7基設置する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)基 ア 見守りカメラ設置基数	予算の主な増減の理由 見守りカメラ設置計画(R4:5基からR5:7基設置)に基づく工事請負費の増(※R5年度までに19箇所24基設置で完了予定)
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	見守りカメラ(防犯カメラ)設置必要箇所	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)箇所 ア 見守りカメラ(防犯カメラ)設置予定箇所数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	見守りカメラ(防犯カメラ)を必要な箇所に設置する	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)% ア 見守りカメラ(防犯カメラ)設置割合
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~年度
市内20カ所に設置を計画しており、設置基数を成果指標とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
①活動指標	ア 基		5	4	5	6	5	0	0	0	
	イ										
②対象指標	ア 箇所		5	4	5	4	5	0	0	0	
	イ										
③成果指標	ア %		100	100	100	120	100	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	2,438	2,188	3,002	2,538	3,377	500	500	500
		(A)事業費計	千円	2,438	2,188	3,002	2,538	3,377	500	500	500
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	1,577	1,564	876	2,473	876	876	876	876
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,015	3,752	3,878	5,011	4,253	1,376	1,376	1,376		

事務事業名	見守りカメラ（防犯カメラ）設置事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 市内4カ所の交差点に防犯カメラ（見守りカメラ）を6基設置した。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市内の主要交差点5カ所（7基）に設置を予定している。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 計画では市内に20基を設置する計画であり、今後、基数を増やすことにより向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 警察署が管理する信号柱（又は九州電力、NTTの電柱）に共架できれば専用柱を設置する必要がなくなる。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 防犯カメラ設置に必要な経費のみの計上である為削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民の安全・安心を確保するために設置された防犯カメラ（見守りカメラ）であり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 防犯設備の設置、管理は行政の責務であり妥当である。

3 評価結果の総括（CHECK）

今後においても事業完了に向けて防犯カメラ（見守りカメラ）の設置を行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						